

| 実践校に関する事項 | | |
|---|-------------------|---------------|
| 学校区分 | 学校名 | 学校長名 |
| 中学校 | 那智勝浦町立那智中学校 | 船井 洋二 |
| 学校所在地 | | |
| 〒 649 - 5331 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町天満 1 6 9 3 tel 0 7 3 5(5 2)0 0 7 2 fax 0 7 3 5(5 2)0 0 9 2 | | |
| 担当者名 | 役職名・担当教科 | |
| 田中 敏行 | 教諭・英語科 | |
| 〔学校の概要〕 | | |
| 本校は太平洋に面し、国道 4 2 号線に面した所にある。漁業と観光が主な産業の地域で、世界遺産の熊野古道、那智大社に近い。生徒は明るく、活動的である。 | | |
| 研究実践に関する事項 | | |
| 対象者児童・生徒 | 学習支援者等（延人数） | 主な活動場所 |
| 学年 1 年生 4 6 名 | 6 名 職員 6 名 | 熊野古道・世界遺産センター |
| 実践研究テーマ | | |
| 世界遺産としてのふるさとを体感する（地域学習） | | |
| 実践教科等名 | 単元名 | |
| 総合的な学習の時間 | ふるさとにある世界遺産を体感しよう | |
| 〔キーワード〕 | | |
| 地域学習 世界遺産教育 | | |
| 〔単元目標〕 | | |
| 和歌山県についての調べ学習、ふるさとにある世界遺産を現地で体験することで、郷土についての知識を深める。 | | |
| 〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕 | | |
| 全体 1 0 時間 （「 事前学習世界遺産調べ・現地学習・事後学習まとめ 」 5 時間 ） | | |
| 〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕 | | |
| 和歌山県世界遺産センター：世界遺産講座、次世代育成事業（現地学習） 和歌山県世界遺産マスター：古道ウォークにてガイドをして頂いた。 | | |

| 実践校に関する事項 | | | |
|--|---------------------------------|--|-----------|
| 〔单元指導計画概要〕 | | | |
| | 主な学習活動 | 学習への支援 | 評価方法等 |
| 1 | 事前学習① 国内外の世界遺産について基本事項を理解する。 | 世界遺産センターHPからの資料を用い、「紀伊山地の霊場と参詣路」についての理解を深める | ワークシート |
| 2 | 事前学習②～④ 壁新聞作成 | ・班ごとに世界遺産や熊野古道について、テーマを決める。 ・決めたテーマの情報をPC室で調べ、新聞記事にまとめる。 | 作成物 |
| 3 | 世界遺産講座 | 世界遺産センターの職員から、世界遺産の歴史や「紀伊山地の霊場と参詣道」の概要や世界遺産に登録された過程を説明していただいた。 | 観察・ワークシート |
| 4 | 現地学習 (三軒茶屋跡～熊野本宮大社) | 世界遺産マスターの方々に説明をしていただきながら、三軒茶屋跡から熊野本宮大社まで4班に分かれて歩いた。 | 観察 |
| 5 | 事後学習⑤～⑥ 壁新聞まとめ | ・新聞記事の中に、感想・まとめの欄を設け、しおりにまとめた内容を記事にする。 | 作成物 |
| 〔单元学習の成果と課題〕 | | | |
| <p>○成果</p> <p>次世代教育事業を通して、生徒達は和歌山県の歴史・文化、また海外から見た和歌山など広い視点から自分達の郷土について考えることができた。</p> <p>また現地に実際に行き、体験・体感することで、熊野古道の歴史や魅力を感じ、後世に伝えていくべきことを考えることができた。</p> <p>○課題</p> <p>現地で学んだことを生かして、どのように世界遺産に携わっていくかを考えさせる場を設定する必要があると感じる。</p> | | | |
| 〔世界遺産学習の効果〕 | | | |
| <p>世界遺産の学習を通して、普段何気なく生活している自分達の町を客観的に見る良い機会となった。改めて、熊野の歴史や時代的背景、価値を理解し体験することで、先人達が守ってきた熊野古道を後世に伝えていく気持ちが芽生えるきっかけとなったと感じる。</p> <p>また、事前学習・事後学習の新聞作りを自分達でテーマから決めさせ、PCを使い調べ、記事にすることで、自発的に郷土に対して興味を持つことができた。</p> | | | |
| 〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕 | | | |
| <p>今回の世界遺産学習を通して、自分達が生まれ育った郷土の理解を深め、世界遺産としての和歌山という視点を持つことができた。今後の方向性としては、今回学習させていただいたことを、どう普段の生活につなげていけるかが課題になると考える。本校では2年時に沖縄への修学旅行を計画している。この機会を生かし、和歌山と沖縄の歴史や文化、環境を経験し、それぞれの良さ、後世に受け継いでいく大切な事項を関連づけ学習していきたい。生徒達が成長していく中で、郷土わかやまに誇りと愛情を持てる人材になってほしいと思う。</p> | | | |

様式 2

令和元年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

世界遺産講座を受講している様子



生徒の感想より

- ・世界遺産がある意味と、それに込められた願いを改めて知り、お互いの文化を尊重し合って後世に残していくことが大切だということがよく分かりました。
- ・昔の人の道普請が今も続いていて、熊野古道が昔から大切にされているのがすごいと思いました。
- ・今までは世界遺産があつて当たり前だと考えてしまっていたけど、今日の講座で、自然を守っていく難しさと大切さを知ることができた。

現地学習の様子

雨天のため、道普請は出来なかったが、世界遺産マスターの方に案内して頂きながら、古道ウォークを実施した。熊野古道の歴史を教えて頂き、霧がかかった古道で自然を体感しながら、三軒茶屋跡から熊野本宮大社までを歩くことができた。



生徒の感想より

- ・雨の日の熊野古道は神秘的でとてもきれいでした。海外からの観光客の人たちとも触れ合うことができ、世界中の人が自分たちの身近な場所に来てくれているんだと感じました。
- ・3つの県が熊野古道で世界遺産に登録されていることがわかりました。また昔は京都から歩いてくる人がいると聞いて驚きました。
- ・世界遺産センターの方々の話を聞き、世界遺産を作った目的や自然と人間との関わりを学びました。実際に熊野古道を歩いてみて、歴史や自然に触れ、地元にある世界遺産を感じる事ができました。